

風鈴

まだ暖かくなる前
誰もいなくなった家
締め切っていた内廊下の窓
開けた途端聞こえた

風がそっと軒先を撫でる
その音 透明な声に変える
これまで黙っていたこと

止まっていた空気が確かに動いた

これまで忘れられていた
住む人いなくなってから
静けさをまるでほどくように
鈴の音空に舞う

風鈴はその時その声知っている
ため息 すずやかな音に変える
これまで黙っていたこと

止まっていた空気を確かに揺らした